

# 統合失調症の主症状について:問診表

人は精神活動として、視る、聞くなどの 感覚 から考え 思考 が生まれ、これまでの経験を基に、行動します。統合失調症ではこの感覚や思考が通常より過敏、活発になります。つまり些細な刺激で現実にはない感覚が出現したり(幻覚)、不安が止まらなくなるなど余計な考えが激しくなり、現実にはないことを確信(妄想)してしまうことがみられます。これらは統合失調症の陽性症状と言われるものです。またこれらに加え、気持ちが落ち込み、引きこもってしまう陰性症状と言われる症状もあります。順に主な症状を記しますので、当てはまる□に✓をし、診察時に担当医に提示してください。

## 陽性症状

### ①幻覚:現実にはない感覚をあるように感じる、知覚の異常です。

幻覚は、実際にはないものをあるように感じることです。ほとんどが幻聴で、実在しない人の声が聞こえる現象です。ご本人にとってはありありと聞こえ、実際に誰かが言っているように感じる、感覚が過敏になった結果生じる精神症状です。

・音への過敏性、幻聴体験	
<input type="checkbox"/>	音に過敏になる。自分に関係があると感じる。(咳払いが自分への当てつけに感じるなど。)(はっきりとした幻聴がきこえる前に体験することがあります)
<input type="checkbox"/>	誰もいないのに自分に対する悪口や噂が聞こえる。
<input type="checkbox"/>	隣の部屋のひとの話す内容がはっきりと聞こえる。(大声で怒鳴るような声でなく、普通の話す音の大ききで)
<input type="checkbox"/>	何かの命令や指示が聞こえ、あまりしつこいのでそれに従ってしまう。
<input type="checkbox"/>	声ではなく、考えやアイデアがテレパシーや電波のように伝わってくる。
・幻聴以外の幻覚	
<input type="checkbox"/>	幻視
<input type="checkbox"/>	体感幻覚:普通なら感じないような身体の症状を感じる
・本人の幻聴が悪化することでご家族や周囲の人が気づく、言動や行動の変化	
<input type="checkbox"/>	前段階 :音に敏感になる。様々な音が気になり、すべて自分に関係があるように感じる
<input type="checkbox"/>	第一段階 :空笑(幻聴を聴いて笑う) 独語(幻聴を聴いてそれに返答する)がしばしば見られる。
<input type="checkbox"/>	第二段階 :叫ぶ「うるさいぞ。」「もうやめてくれ。」などしつこい幻聴に怒りながら抗議する。
<input type="checkbox"/>	第三段階 :大きな音で音楽を聴く、ヘッドホンで 耳栓をする。(幻聴が聞こえないように、消そうとする。)
<input type="checkbox"/>	第四段階 :長期間しつこい幻聴に責め続けられた結果、幻聴に命令され、それに従ったおかしな行動をしてしまう。最も深刻なのは他害行為や自傷行為である。

### ②妄想:現実にはあり得ないことを信じ込んでしまう、考えの異常です。

妄想は、非現実的なことやあり得ないことなどを信じ込むことです。

日常から不安に感じていたことが押さえることができなくなって

<input type="checkbox"/>	被害妄想:自分の悪口を言っている、見張られている、だまされているといったが代表的です。下記のものが代表的です。あてはまるものがありますか? { いやがらせをされる・噂される・調べられる・追跡され尾行される・盗聴される ・じろじろ見られる・あてつけをされる など }
<input type="checkbox"/>	周囲の人の言動がすべて自分に向けられたものだと思信する関係妄想

### ③自我意識の障害:自分の行動や考えを誰かに支配されているように感じるようになる。

<input type="checkbox"/>	思考伝播:自分の考えが他人に知られてしまうと感じる。
<input type="checkbox"/>	思考吹込:人に考えや衝動を吹き込まれていると感じる。
<input type="checkbox"/>	思考奪取:考えを他人に吸い取られてしまうと感じる。
<input type="checkbox"/>	させられ体験:実際に誰かに操られていると感じる。

### ④滅裂思考:考えにまとまりがなくなり、会話や行動がおかしくなる。

<input type="checkbox"/>	発言内容にまとまりがなくなり、関連性のない話題へ話が飛び、聴く人は理解できなくなります。
--------------------------	--

### ⑤極端な緊張による行動の異常:外界からの刺激に過剰に反応する、あるいは反応しない。

<input type="checkbox"/>	激しく興奮:大声で叫んだり、不穏や興奮状態になる。
<input type="checkbox"/>	昏迷状態:周囲からの刺激にまったく反応しなくなったりします。
<input type="checkbox"/>	常同症:目的のない運動や無意味な言葉を繰り返す。
<input type="checkbox"/>	蠟屈状態:同じ姿勢を筋力が維持できる限り保とうとする。

次の用紙へ→

## 陰性症状

感情表現が乏しくなり、意欲が低下する症状です。陽性症状に遅れて現れます。単身生活や就労など自立した社会生活に悪影響を与えます。薬物療法のみでの改善は容易でなく、精神科リハビリテーションの導入が改善には欠かせません。

### ①感情・意欲の減退

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 喜怒哀楽が乏しく、感情そのものの表現が乏しくなります                   |
| <input type="checkbox"/> | 意欲や気力、集中力が低くなって興味や関心を示さなくなる。                 |
| <input type="checkbox"/> | 他の人の気持ちに共感したりすることも少なくなり、外界への関心を失っているようにみえます。 |

### ②意欲の減退：意欲や気力が低下する

- |                          |                                |
|--------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 意欲や気力が低下する。根気よくものごとを行えない。      |
| <input type="checkbox"/> | 集中力の低下：一度に多くの物事に対処するのが困難になります。 |
| <input type="checkbox"/> | 自分の周囲への関心が低下します。               |

### ③思考能力の低下：会話の量が減り、空虚な内容になる。

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 思考力が低下し、言葉の数が少なくなります。                                     |
| <input type="checkbox"/> | 話しかけても、短くて素っ気ない内容の、途切れとぎれの返事になります。あるいは、まったく答えられないこともあります。 |

### ④コミュニケーション能力の低下：社会的ひきこもり 人との関わりが減り、自閉的になる

- |                          |                             |
|--------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 他の人との関わりを避け、自室に引きこもる。       |
| <input type="checkbox"/> | 社会参加することなく、何をするともなく無為に生活する。 |

## 認知機能障害

認知機能とは、記憶、思考、理解、計算、学習、言語、判断などの精神活動の能力を指します。統合失調症では、生活機能全般に支障をきたします。統合失調症に伴う症状として生じる一方、過剰で不適切な向精神薬の使用が認知機能の低下をもたらす場合もあります。いくつか例を挙げます。

### ①集中力、注意力の低下

- |                          |                                      |
|--------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 会話や見聞きした内容のうち、必要なものだけに注意を集中することができない |
| <input type="checkbox"/> | 周囲の動きや物音などにとらわれて、落ち着きがなくなる。          |
| <input type="checkbox"/> | 仕事や学業などができなくなる。                      |
| <input type="checkbox"/> | 会話中気が散り、他の人とコミュニケーションがしにくい。          |

### ②記憶・判断力の低下

過去の記憶やこれまで経験してきたことと照らし合わせて、状況を総合的に判断し、行動することができなくなる。

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 一つのことにとらわれて全体を理解できない。                                       |
| <input type="checkbox"/> | 計画を立てて、物事を実行できない。<br>たとえば料理であればその内容をきめる、食材の準備をする、調理が実行できない。 |
| <input type="checkbox"/> | 同じことを何度も聞いてしまう、同じ失敗を繰り返す。                                   |

### ③物事の特徴をとらえて、頭の中で選別し、グループに分けることができない。

- |                          |                              |
|--------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 整理整頓ができない。                   |
| <input type="checkbox"/> | 必要なものを選び、それをつかって作業することができない。 |
| <input type="checkbox"/> | 簡単な作業に手間取り時間がかかる。            |

記入日	平成	年	月	日
記入者	氏名			
	続柄			